

第24年度 事業報告のまとめ

事業の目標

「コロナ明けの活動に向けて課題の見た一年」

運営体制・事業実施体制整備の遅れ

コロナが少し落ち着き、対策をすれば従来の事業再開もできたであろうこの1年間でしたが、年度当初から理事長の入院やコロナの影響によるスタッフの定期的離脱もあり、当初予定していたことが十分にできない一年となりました。特に活動の基盤ともなる会員や関係者の方々との交流やその機会となるこどもフェスタの実施は検討をはじめるとはできましたが、実際に実施は次年度にせざるを得ない状況になりました。またそのような一緒に活動を作ってきた方々との再会なくして、活動の再開は難しく、財政面の基盤整備についても十分にに取り組むことができませんでした。結果大きな赤字ともなっており、この面は次年度早期に対応していかなければいけない課題となっています。そしてコロナ禍でも動いて活動については、相談も利用者も増えることで体制が不十分な部分がでてしまい、スタッフの負担が大きくなっていた面もあります。活動現場は多くのボランティアのみなさんにも支えていただきましたが、事務局として再開できていない活動との再開に向けた動きを早期にできませんでした。一方で委託事業を中心としたげんきスポット0-3や楽習サポートのびのびといった日常的に実施される事業については、感染対策をしながら実施することができました。地域との連携事業については再開に向けた検討もはじまり、あらためて連携体制について議論をすることができました。

財政収支の見直し

前年度に拠点を移転したことにより、支出に関しては大幅な改善がみられました。またその新拠点における個別活動や食糧配布、連携事業となるフリースペースの活動の実施と従来の拠点より多くの活動を実施することができました。一方で実施基盤の整備ができていないことから課題にあがっていた財政基盤の見直しの議論とそのうえでの実行については取り組むことができず、また昨年度まで同様、講演会などの開催が減少したこともあり、寄付金が大幅に減少し赤字を生み出すこととなりました。コロナが落ち着きすでに新年度に向けた講演依頼などもあることから、次年度は早期に改善に向けた対応チームをつくるなど見直しを図ることが必要と考えています。

日常生活に溶け込む活動

課題が多い一年ではありましたが、コロナの影響を踏まえつつもコロナへの配慮さえあれば活動ができたことから、げんきスポット0-3や楽習サポートのびのびの活動は毎日多くの子どもや家族が参加してくれました。コロナによっての制限が緩むにつれ来館者が増えることや、その場でこれまでの参加者の再会が生まれ、あらたな交流がはじまっている点ではあらためて日常生活に溶け込む活動となっているのだと感じられます。一方でここから先の活動が再開していないことで縁が切れているという声もあがっており、動いている活動を入り口としその次の活動を再開していくことや新規でつくっていくことが求められています。

法人全体 <総会ならびに会議報告>

【第 24 年度通常総会】

日時・場所 2022 年 5 月 22 日（日） 13：00～15：00 本願寺山科別院 多目的会館

審議事項 第 1 号議案 議事録署名人選出の件

第 2 号議案 第 23 年度事業経過報告承認の件

第 3 号議案 第 23 年度事業活動決算承認の件

第 4 号議案 第 24 年度事業計画承認の件

第 5 号議案 第 24 年度事業活動予算承認の件

【理事会】

理事 10 人、監事 2 人で構成。

会 場 山科醍醐こどものひろば内「こども生活支援センター」、オンラインにて開催

開催日 2022 年 4 月 23 日(土)、9 月 4 日（日）、12 月 18 日(日)

2023 年 3 月 26 日(日)

【常任理事会】

理事長、副理事長、常任理事、事務局長で構成。

会 場 山科醍醐こどものひろば内「こども生活支援センター」

開催日 2023 年 3 月 2 日(木)

【事務局会議】

法人事務に関して概ね月 1 回程実施し、業務遂行にあたった。

第24年度 各事業報告

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	—	—	—	—	—	—	—
子どもが自ら 創る体験 活動事業	町たんけん 地域を知り、その中の出会いから 人と人がつながり、より良い地域 になることを目指した。小学生と のたんけん活動の他にも、幅広い 啓蒙活動(小学校や地域連携)を 予定していたが、コロナ禍で実施 出来なかった。 2021・2022年度報告書作成。	通年	地域一円	7人 (メインスタッフ・ ボランティア・講 師)	小学生9名 とその家族 出前授業の児童 60名	192	216
子育てサ ポート事業	げんきスポット0-3(ぜろさん) 未就園児を持つ親と、その子ども 達のサポートを常設会場「げんき スポット0-3」にて実施する。屋根 のある公園を目指す。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット0- 3	21人 (スタッフ・ ボランティア・講 師)	地域の 子どもと大人 のべ4900人	6801 (委託金6661)	7076 (委託金6958)
	案習サポートのびのび 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな い子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。	通年	地域一円	—	—	—	—
	子どもの貧困対策事業 集団活動が苦手な子どもや、学 習機会の少ない子ども、また経済 的等の理由で体験活動の機会が ない子どもへの個別(生活・学習・ 余暇)支援事業。コロナ禍の影響 を受けた家庭に食材・衛生用品の 配布支援も実施。 ※京都地域創造基金事業指定助 成事業 ※近畿ろうきん「笑顔プラス」寄付	通年	地域一円	39人	子ども13人	4000 (助成金4000)	1226 (助成金1012)
	ひとり親家庭等への生活・学習・ 居場所サポート事業(子どもの貧 困対策事業) 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府委託金事業	通年	地域一円	39人	子ども: のべ307人 保護者: 11人	8450 (委託金8450)	9142 (委託金9142)
ボランティ アサポート 事業	ボランティア・研修部 ボランティア希望者の、各事業へ のコーディネートを行なった。	通年	当法人事務所	4人	—	—	—
	講師派遣・インターンシップ受入 事業 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行う。	通年	地域一円	4人	—	500	528
	のびのび@たいむ のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	2人	6人	—	—

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
広報・出版 事業	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。	季刊	—	2人	1,000部を4回	—	—
	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラシ、 外部団体のチラシなども発送。	月刊	—	—	150部を12回	—	—
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのないまち」 「まちの子どもソーシャルワーク」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	—	—	—	150	0
	サポートBOOK 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の頒布、活用。 読書会の開催。	通年	—	—	—	—	—
	ホームページ 当法人におけるホームページの 定期的な更新情報の発信及び、 基本情報の公開を行う。	通年	—	—	—	—	—
ネットワー クづくり事業	分野連携ボランティアネットワーク 事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワー クづくりを行う。	通年	—	—	—	—	—
	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催: 社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	子ども生活支援セ ンター	—	—	—	—
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として 山科で子育てサークルや子育て 支援をしている諸団体との交流を 行う。子育て支援サロンを開催す る。	通年	社会福祉協議会 他	—	—	—	—
	中学生勉強会(おぐりす・だいが ・醍醐支所) 生活保護受給者等中学生学習支 援プログラム。 ※京都市ユースサービス協会委 託事業	通年	醍醐事務所 トハウス 醍醐支所	22人	5人 5人 11人	2713 (委託金2713)	2713 (委託金2713)
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランテ ィア呼びかけなど。	通年	—	2人	—	—	—